



猛暑への対策強化を

生保世帯へのクーラー設置助成など、共産党区議団が北区へ要請



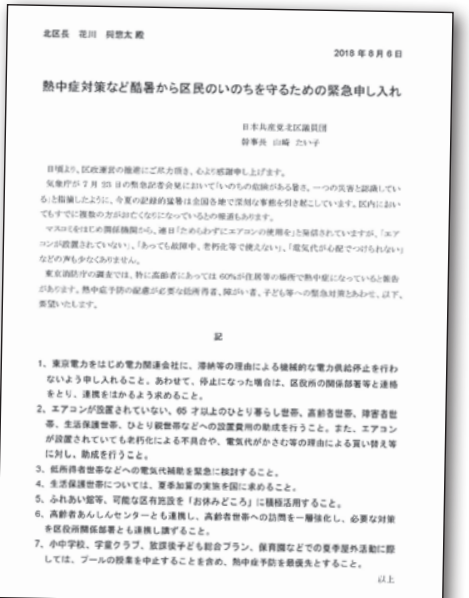
依田副区長に要請書を提出する日本共産党北区議員団

日本共産党北区議員団は9日、「猛暑から区民の命を守るための申し入れ」を依田副区長に提出。猛暑対策を強化するよう要請しました。(のの山けん)

8月半ばを過ぎても、まだ暑い日が続いています。記録的な酷暑となった昨年は、7月から激しい暑さが続いていましたが、今年は梅雨冷えから一転、8月に入ってから猛暑に見舞われていま

す。生活保護利用世帯や高齢者、障がい者、ひとり

親世帯などでエアコンがない家庭では、健康や命にまで危険が及ぶことが心配さ



れています。また、エアコンが設置されていても、「電気代が心配でつけられない」という声も、依然として寄せられています。こうした状況を受けて、党区議団は、生保利用者からの相談で区に要請し、新規エアコン設置費用が支給された例も紹介しつつ、①生保世帯へのエアコン設置助成は、新規利用者だけでなく、全世帯を対象とすること、②高齢者・障がい者、ひとり親世帯などでエアコンがない家庭に設置費用や修理・買い替え助成をおこなうこと、③可能な区有施設を「お休みどころ」として活用すること、④高齢者あんしんセンターと連携して高齢者への訪問を強化すること、⑤ライフライン事業との見守り協定を遵守することを申し入れました。

依田副区長と担当部長は、「暑さから区民の生命を守ることが最優先。生保世帯については、個々のケースにおいて最善の対策がとれるよう徹底したい」と応じました。

DNP

住友不動産が工事説明会 跡地は分譲マンションに

赤羽スタジオ解体へ

住友不動産株式会社は7月30日、赤羽会館で、「DNP赤羽スタジオ」解体工事の説明会を開催しました。

説明によれば、神谷2丁目に位置するDNP第1スタジオ（地上4階、3755㎡）、第2スタジオ（地上4階、5976㎡）、神谷倉庫（地上5階、4479㎡）3棟の解体工事を、この8月から2020年の6月までおこなうとされています。工事施工者は、長谷工コーポレーション。

開発計画がめじろ押し

住友不動産によれば、建物を解体した後は、分譲マンションの建設を予定しているといえます。すでにこの地域では、長谷工コーポレーション

が所有する稲田小前3つの大日本印刷工場跡地（A敷地、B敷地、C敷地）が、開発目的で整備される予定で、A敷地についてはすでに、81戸の分譲マンション計画が発表されています。

小中一貫校への影響は？

現在、北区は、神谷中、神谷小、稲田小を統合し、新たに小中一貫校をつくる計画を進めています。しかし、周辺の開発地域に次々と大規模な分譲マンションが建設されれば、学区の児童・生徒数が急増し、小中一貫校の教室が足りなくなる恐れも出てきます。今後、周辺の開発計画の動向を注視していく必要があるでしょう。

（のの山けん）

